

平成25年第4回定例会一般質問

平成25年第4回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 12月3日(火)・4日(水)・5日(木)・6日(金)
いずれも午前10時から

質問内容 発言通告書(一般質問)のとおり

問合せ先 議会事務局(電話042-387-9947)

発言順	議員名	質問日(予定)
1	中山 克己	平成25年12月3日(火)
2	露口 哲治	
3	五十嵐 京子	
4	小林 正樹	
5	鈴木 成夫	
6	宮下 誠	
7	岸田 正義	平成25年12月4日(水)
8	百瀬 和浩	
9	関根 優司	
10	渡辺 ふき子	
11	遠藤 百合子	
12	林 倫子	
13	白井 亨	平成25年12月5日(木)
14	湯沢 綾子	
15	田頭 祐子	
16	水上 洋志	
17	斎藤 康夫	
18	中根 三枝	
19	板倉 真也	平成25年12月6日(金)
20	渡辺 大三	
21	片山 薫	
22	紀 由紀子	
23	森戸 洋子	

一般質問の通告について

発言順

1

平成25年 11月22日
(西暦2013)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

中山 克己

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 小金井市アスベスト飛散防止条例の制定に向けて	
(1) 条例施行規則の進捗状況	
(2) 国や都の動向について	
(3) 今後の予定	
2. 多重債務者への市税徴収対策を	
(1) 多重債務者が陥る債務スパイラルへの抑止を	
(2) 相談窓口と現在の対応	
(3) 徴税現場の対応と連携	
3. 庁内ICT への取組	
(1) 町田市役所の視察を終えて	
(2) 庁内システムの維持管理コスト抑制を	
(3) 庁内 Windows XP の課題への対応	
4. 街路灯の対応窓口のアナウンスを	

一般質問の通告について

発言順

2

平成25年11月22日
(西暦2013)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 露口哲治

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、小金井市の下水道事業は、昭和44年に着手して以来17年間の歳月をもって完成し、昭和62年4月には市全域が処理区域となった。	
(1)普及が早かっただけに合流式が一般的、ゲリラ豪雨の時には生活排水と雨水が大量に集中し、マンホール蓋から溢流や河川に排水される。管渠の現況と課題を問う。	
(2)野川の新前橋(小金井街道付近)から小金井新橋(くじら山付近)までの排水口径は20~30cmから100~140cmといろいろある。雨水専用や合流式の排水溝(管渠)の違いを問う。	
2、施設白書で下水道は、耐用年数50年と仮定し、40年で整備総額500億円以上、年平均13億円とある。	
(1)下水道維持・保全計画等、平成26年度下水道プラン長寿命化基本計画の進捗状況を問う。	
(2)施設改修・建て替え等の費用と下水道を含むインフラ整備の今後の取り組みとして、白書発行後、建物の老朽化等の把握、財政状況を踏まえた検討、方針の作成と記されている。まもなく2年をむかえる今、具体的スケジュールを問う。	
3、野川右岸の「新前橋」から「小金井新橋」までの階段設置、その2。	

一般質問の通告について

発言順

4

平成25年11月22日
(西暦2013)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 1)、林正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 発想を転換した高齢者の住宅充実策の検討を</p> <ul style="list-style-type: none">a) 空き家を利用した、ケア付き賃貸住宅についてb) 空き室を利用した、「民間住宅活用モデル事業」を活用した、グループリビングについてc) 災害時相互応援協定書締結自治体への特別養護老人ホーム設置について <p>2. 中央ラインモール構想を活かす施策を</p> <ul style="list-style-type: none">a) 災害時の防災協定を見直し安心の向上をb) 商店への利子補給制度充実で回遊性の起爆剤に <p>3. 子育て支援施策のPRを行い充実感のアップを</p> <ul style="list-style-type: none">a) 市や市民団体の行う子育て支援施策をチラシの作成b) みんなで子育て応援ブック 「のびのびこがねっ子」PR版の作成	

一般質問の通告について

平成25年11月22日
(西暦2013年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 鈴木 成夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 「共生するまち」の実現にむけて	
① 障がい児の移動支援の拡充を検討しないか	
・ 特別支援学級、児童発達支援センター「きらり」など、通園バスに 対する利用者・市民の要望を把握しているか	
② 障がい児の放課後の生活や、実態調査はおこなわれているか	
・ 学童保育所だけではない、居場所づくりの必要性について市の認識は	
③ ともに働くまちづくりへむけて	
・ 障がい者就労支援センター「こころ」を活用し、さらなる就労支援に 取り組まないか	
・ 課題が多い公園や、緑地管理に「アダプトプログラム」を活用し 高齢者や女性、障がい者など市民の力を活用しないか	
2. 大災害発生時の職員体制について	
① 一時避難所開設時の職員の対応と初動体制について	
② 学校と地域の防災組織との連携の課題について	

一般質問の通告について

発言順

6

平成 25 年 11 月 25 日
(西暦 2013)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

宮下 誠

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1、東京五輪2020に向けた準備を始めないか。</p> <p>(1) オリンピック憲章から、スポーツを文化・教育と融合させる表現について。</p> <p>(2) 東京五輪招致プランから、文化・教育への取組について。</p> <p>(3) スポーツはもちろん、文化・教育の分野でも先見性のある取組を。</p> <p>2、健康寿命の延伸のため、データヘルスの推進を。</p> <p>(1) データヘルスに関する政府の方針は。</p> <p>(2) 糖尿病重症化予防プログラムの取組を行わないか。</p> <p>(3) 働き盛り世代への経済損失の見える化の取組を行わないか。</p> <p>(4) 経産省の「健康寿命延伸産業創出推進事業」や、厚労省の「レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業」について、平成26年度のモデル事業を誘引したり、国からの支援を引き出したりして実施しないか。</p> <p>3、注射針を安全・確実に廃棄するために。</p> <p>(1) 在宅医療廃棄物の内、特に注射針について、小金井市における排出の現状と課題は。</p> <p>(2) 東京都の「適正処理に関する検討会とりまとめ」の内容をどのように受け止めるか。</p> <p>(3) 改善しないか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

8

平成 25年 11月 25日
(西暦 2013)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 百瀬和浩

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 産学官連携の取組みについて	
地方分権により基礎自治体の役割が拡大する一方で、厳しい財政状況や高齢化の進展など課題をかかえている本市であるが、多様な主体との連携を通して課題解決が期待されるところである。とりわけ、貴重な人的・知的資源がある大学との連携は不可欠なものとする。	
(1) これまでの大学との連携をふまえ、さらに連携強化を図るべきと考えているがどのようなビジョンを持っているか。	
(2) 高齢者の見守りや生活支援に学生の若い力を活用しないか。	
2. 新庁舎建設の早期実現を	
(1) 基本計画策定よりほぼ1年になるが、平成25年4月からこれまでの具体的な取組みはどの様になっているか。	
(2) 現時点での他の公共施設を含めた将来目標はどのようになっているか。	
3. 人件費比率が多摩26市中ワーストワンになったことについて	
(1) 平成25年8、9、10月における残業時間から判る課題は何か。	
(2) 職員の能力開発と管理職のもつべき能力をどのように考えているか。	
4. スポーツ祭東京2013の経験をふまえた上で、2020年東京オリンピック、パラリンピックの開催時に展開する施策のビジョンを問う。	
5. 友好都市三宅村との交流について	

平成25年11月26日
(西暦)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 渡辺ふき子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、高齢者を地域で支える環境整備を 長寿社会が進展する中で認知症高齢者が増加している。 ①高齢者が、生涯を住み慣れた地域で安心して過ごせる、地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題である。 ・孤立しがちな高齢者の見守り体制は万全か。 ・訪問看護と訪問医療の連携により、在宅介護の体制を拡充すべき。 ②医療にかかわる悩みを地域で気軽に相談できる場所が必要。 ・病後の在宅療養や医療相談にあたる、地域の保健室を設置しないか。</p> <p>2、地産地消をめざし、小金井らしい「食」と「農」の展開を 「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録される見通しとなっているが、「小金井らしい食生活」の推進を加速させるチャンスである。 ①小金井市では現在食育基本計画が策定されているが、健全で豊かな食生活を自ら選択できる子供達を育成するために、学校現場での食育が重要になっている。 ・食育推進委員と農業者による、地場野菜を使った食育授業を、市内の全小中学校で実施しないか。 ②江戸東京野菜を使った黄金井フェアが話題になっているが、小金井のブランド野菜として、更に江戸東京野菜をアピールする企画を考えないか。 ・江戸東京野菜を使ったお料理コンテストの開催。 ・江戸東京野菜を生産する農家や、レストラン等を巡る観光ツアーを実施。 ③農地を借りて、障がい者の自立支援や雇用の場として野菜や草花を育てないか。</p> <p>3、小金井市東部地域から市役所に向かうバスルートの確立を。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

一般質問の通告について

発言順	11
-----	----

平成25年11月26日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 遠藤百合子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、小金井市と三宅島との友好を更に深めていくために	
小金井市と三宅村との友好盟約を結び、35年を迎えた今、	
噴火による全島避難を経て、島の復興も着々と進んでいる	
(1) 三宅島との友好の現状は	
(2) 平成26年度に調布飛行場から三宅島への小型飛行機での	
ルートが予定されており、小金井—三宅島間の移動時間が	
短縮され、ひと・物・文化の往来が頻繁になる事が想定	
される。市としての方針をどの様に位置づけていくのか	
(3) 三宅島の物産を市内業者が扱いやすくする工夫を	
2、健康自治体「小金井」構想の推進を	
心と体の健康を維持していく事で、医療費等の削減が	
もたらされます	
(1) 食育基本条例が策定された今、健康課としてどの様に	
周知を図るか	
(2) 健康度アップのため、他の自治体政策を参考にしないか	
(3) マクガバンレポートを参考に進めていかないか	
(4) 学校給食における米飯給食の進捗状況は	
3、オレオレ詐欺の被害を少なくしていくために	

一般質問の通告について

発言順

12

2013年 11月 26日

(あて先)

小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

林倫子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容

備考

1・中高生の居場所を増やそう

- (1) 児童館の他に常設の場は設けられているか
- (2) 公民館や図書館の空き部屋を中高生の学習室として開放しないか
- (3) 学習室として利用する場合の利用規則を子ども参加で作らないか

2・子どもの権利について学ぶ場を

- (1) 先進市の状況は？
- (2) 愛知県豊田市の子どもの権利についての学習を参考に、小金井市でも年齢に応じた学習の場をつくらないか

一般質問の通告について

平成25年 11月26日
(西暦2013年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 白井 亨

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 学童保育業務の「見直し」プロセスを見直してはどうか	
(1) ビジョン、目的、手段の一貫性について	
(2) 都型学童クラブ移行のメリット・デメリット及びその対策について	
(3) 合意形成のプロセスについて	
【質問意図】小金井市の学童保育の市としてのビジョンが見えない為、今取り組んでいる委託のプロセスを点検してみたい。	
2. どのように待機児童数減少に主体的に取り組むのか	
(1) 待機児童188人の分析について	
(2) 保育所新設をジャッジするその条件・基準について	
【質問意図】保育計画が無い中、具体的にどのようにして待機児童を減少トレンドへ導いていくのか。市としての主体的な考えと取り組みを確認したい。	
3. 公共施設マネジメントの取組について市民に周知と参加を	
(1) これまでとこれからの市民への情報提供とコミュニケーションについて	
(2) 「基本方針」をつくる今の段階で市民から意見を聴取する場を設けてはどうか	
【質問意図】「施設白書」が出来てもう1年8か月が過ぎたが、市民への周知が充分なされていないとは感じられない。どのように市民を巻き込んでいくのか、を確認したい。	
4. 市民が「担い手」にもなりうるオープンガバメントの環境整備を	
(1) 市としてオープンガバメントのこれまでの取組について	
(2) オープンガバメントを進める上で想定される障壁について	
【質問意図】市が持っているデータを公開することで、民間または市民が担い手になって公共サービスを部分的に担ってもらえるこの取組について、市としてどう捉えているのか確認したい。	

一般質問の通告について

発言順

15

2013年 11月 26 日

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

月頭祐子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1・子どもが参画するまちづくりを</p> <p>(1) 小金井市の子ども参画の現状は</p> <p>(2) いじめ防止、ごみ減量など環境対策や防災対策など、まちづくりに子どもの声を取り入れないか</p> <p>(3) 子ども会議や子ども議会、子どもの職場探検など、子どもの立場から社会参加し意見を述べる場を作らないか</p> <p>(4) 子どもが住民登録し、職安で仕事を探し働いてまちをつくる取り組み『こどものまち・ミニこがねい』が始まっている。行政のできる支援は。</p> <p>(5) 子ども参画の取り組みの報告や、子どもをとりまく問題を大人も子どもも一緒に考えるフォーラムを開催しないか</p> <p>2・在宅で看取りができるまちにしよう</p> <p>(1) NPO や市民と協働して、地域医療福祉を考えるネットワークを作らないか</p> <p>(2) 病院から自宅へ、そして看取りまで支えるためにも、「リビング・ウィル」「エンディングノート」を作らないか</p>	

平成 年 11月26日
(西暦 2015)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 水上 洋志

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 都市計画道路3・4・8号線の拡幅事業は凍結し、財源は市民生活と福祉のために使うことを求める。	
① 事業の緊急性と必要性についてあらためて問う	
② 地権者、地域住民の合意と理解は十分と考えるが、市の見解を問う	
③ 拡幅事業を凍結し、この財源は市民生活のために活用することを求める	
2. 介護保険制度の「改善」を訴え、制度の充実を	
① 軽度者に関する事業を市町村に納管することが検討されているが、その影響をどう考えるか	
② 軽度者をはじめ制度の充実を求める	
③ 介護保険制度の充実に関し意見を積極的に	

一般質問の通告について

平成 25年 11月²⁰27日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 斎藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 小金井市としての駅前ロータリーデザインの考え方</p> <ul style="list-style-type: none">(ア) 各駅ロータリーの統一デザインコンセプトはあるのか(イ) 一般車両の乗降スペースを必ず設置すべき(ウ) 障がい者車両の乗降スペースをどう考えるか(エ) ロータリーの外に一般車両の乗降スペースは可能か <p>2. 都市計画道路の計画変更</p> <ul style="list-style-type: none">(ア) 施工不可能と思える都市計画道路が市内に多数存在する。(イ) 路線ごとに、可能か不可能か見解を求める。(ウ) 施工不可能であれば、変更して市民に対する制限を解除すべきである。(エ) 新たに、必要な都市計画決定に向けて検討すべきである。	

平成25年11月26日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 中根三枝

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 高齢者の孤独化、孤立死を防ぐために	
(1) 現在市ではひとり暮らしに母一人をどのように支えているか。	
(2) 外部から自由異状のなる電気ポットや 自宅版J-スコールなどの補助金は出せて はいいか。	
(3) 実態把握の難しい在宅高齢者を対象 にシルバー人材センターのスタッフによる家庭 訪問が考えられはいいか。	
2. ひとり親家庭の支援について	
(1) 母子自立支援員による相談状況は	
(2) 保育所の優先入所はあるか	
(3) 能力開発等のための給付金支給状況	
(4) 母子寡婦福祉資金の貸付状況は	

平成 年 11 月 26 日
(西暦 2013)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 国保税引き上げ条例の提案はやめよ	
(1) 国民健康保険運営協議会に示された内容は重い負担増。なかでも低所得者には死活問題。このことをどう考えているのか。	
(2) 納付しきれない世帯が増加する恐れがあるが、どう対処するのか。	
(3) 以下の施策に力を入れ、国保税引き上げを中止せよ。	
① 一般会計からの繰り入れを 2011 年度なみに引き上げよ。	
② 健診事業の充実など健康づくり推進で医療費削減を。	
③ 国に対して法定どうりに補助金を交付するよう求めよ。	
④ 金融機関の引き落としへのセカリがえやコンビニ納付の PR などにより、徴収率の引き上げを。	
2. 「危機的財政状況」の原因は「大型開発」	
(1) 「危機的財政状況」と述べる事象にいたった原因について。	
① いつから「危機的財政状況」と言わざるをえない事象に立ち至ったのか。	
② 第 1 次から第 3 次までの行財政改革大綱で「大型開発」を聖域化してきたのは重大問題。	
(2) 扶助費と不要不急の大型開発の市財政に及ぼす影響の度合いについて。	
① 第 3 次行財政改革大綱に見る市民負担増や民間委託	

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>化と「聖域化」された大型開発としては、市財政負担はどちらが大きいのか。</p>	
<p>② 扶助費と大型開発事業としては、一般財源に及ぼす影響度合いのケタが違う。</p>	
<p>③ 市が述べる「扶助費」が市財政を大きく圧迫しているわけではない。</p>	
<p>④ 扶助費は市民のくらしに不可欠。問題視扱いは不見識。</p>	
<p>(3) さらなる駅前開発では市民負担増や民間委託化でも市財政のやりくりが困難に。</p>	
<p>① 下水道などのライフラインや公共施設の維持補修など待ったなしの事業に対して、今後の財政上の対応をどう考えているのか。</p>	
<p>② 第4次長期総合計画「実施計画」ではさらなる駅前開発を明記するが、事業化できる財政的裏付けはあるのか。</p>	
<p>③ 仮に第3次行財政改革大綱をすべて実施しても、2015年度の当初予算は組めない事態になる。</p>	
<p>④ いまは市民のくらしを支える施策、事業を充実させることを求められる。大型開発計画は改めよ。</p>	

一般質問の通告について

発言順

20

平成25年11月26日
(西暦2013年)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺大三

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

	備考
<p>1 秦野市の公共施設再配置計画を視察して</p> <p>(1) これからの時代、脱ムダの観点で公共施設の合理化が必要。 (2) 小金井市として見習うべき点は？ (3) 公共施設白書を「死蔵」せず有効活用させるための方針は？ (4) 再配置計画の制定に向け、有識者検討委員会を設置する意思は？</p> <p>2 市制施行60周年に向けて</p> <p>(1) 5年後の市制施行60周年(人間で言えば還暦)は、市民協働で多様な事業を構築しないか。</p> <p>3 賃借庁舎「20年超え」について市民に説明を</p> <p>(1) 1月1日で賃借庁舎(第二庁舎)の賃借が20年となる。当時、賃借に対しては、市民の強い反対に対して「10年の仮庁舎」と説明して賃借を強行した経過に鑑み、市報やホームページで「20年超え」をお詫びし、これまでの経過や今後の方針をきちんと説明すべきではないか？</p>	

一般質問の通告について

発言順

21

2013年11月26日

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山かお子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 市民交流センターの映写設備の不備について。映画を本来の映写環境で観るために。 市民交流センター大・小ホールのプロジェクション設備は高額の機材を選定しているはずだが、オプション機材を備えていないため、フルHDのデジタル出力ができず、アナログでの上映となっている。</p> <p>1) 市民交流センターのビデオプロジェクターの映写状況について、どのように把握しているか</p> <p>2) 機材選定の経緯、今後の対応</p>	
<p>2. 東京電力への賠償請求と、震災・原発事故避難者の支援について 3月で震災・原発事故から3年が経つというのに、未だに国から避難者への支援は進まず、自治体ごとのきめ細かな取組みが必要とされている。</p> <p>1) 東京電力からの賠償請求の案内と、実際に請求したものについて</p> <p>2) 北多摩南部社会福祉協議会で検討している避難者支援について。市も連携して取り組まないか。「原発事故子ども・被災者支援法」などの整備によって、自治体に取り組める支援を把握しているか。</p>	
<p>3. 子どもの権利条約のメモリアルイヤーに参加しよう 来年は、「国連子どもの権利条約」を日本が批准して20周年になる。各地で権利条約フォーラムなどが開かれ、東京で大きなフォーラムも企画されている。</p> <p>小金井でも、「子どもの権利に関する条例」の周知とあわせて、フォーラムを開催したり、パンフレットをリニューアルする、といった取組みを行わないか。</p>	

平成25年11月26日
(西暦)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 子どもたちに生命の大切さを学ぶ「がん教育」を	
今、日本人の2人に1人が「がん」になっている。	
「がん対策推進基本計画」にも「がん教育」の	
推進が盛り込まれている。	
①「がん教育」についての見解を問う。	
②小・中学校で「がん教育」を行わないか。	
2. 市民の健康を守るための取組の拡充を	
①健康を守るための減塩のセミナー開催を	
②荒川のおきな満点メニューをつくらないか	
③高齢者向けの食育セミナーの開催を	

